



開催直前 ソフトボール大会(4/23) 応援特集



WBCの日本優勝の余韻も冷めやらぬ中、ソフトボール大会も来週末に迫ってきました。「試合には参加しないけど応援に行く」という方も多いかと思います。今回はソフトボール大会の醍醐味が伝わるよう「試合時間・選手選考・打つ・走る・投げる・守る」の観点から応援特集を組みました。

🕒 試合時間 一試合は7回イニング制。但し60分を超えた時点で新しいイニングには入りません。例:6回裏が終了して試合開始から59分であれば、7回表裏も行う。6回裏が終了して試合開始から61分経過していればその時点で7回を行わずに試合終了。乱打戦になると、5回程度で終了になることも多いです。

👤 選手選考 各チームは2名以上の女性/子供を出場させる必要があります。女性/子供が打つ時は外野手(含むローバー)がボールを触った時点でヒットとなり、ワンベースが与えられます。(フライを含む)

- ✓ 女性/子供が打つ時にどのような守備隊形を取るのか
 - ✓ 女性/子供にどのポジションを守らせるのか
- がポイントになります。

また、各チームは2名以上の40歳以上のメンバーを出場させる必要もあります。但し、チームによっては40歳以上のメンバーが多くて必然的に2名以上出場させねばならない状況もあり、チームによってはあまり制約にならないケースもあるようです。

優勝には4-5勝が必要な、長丁場のトーナメント方式。スタミナにも配慮した選手起用が求められます。

👉 打つ バッターは2ストライクからのファウルはアウトになるので、早めのカウントから打つのか、打ち頃のボールが来るまでじっくり待つのか、戦略が問われます。チームによっては、相手の守備の薄いところを狙う“テクニシャンタイプ”のバッターもいるようです。

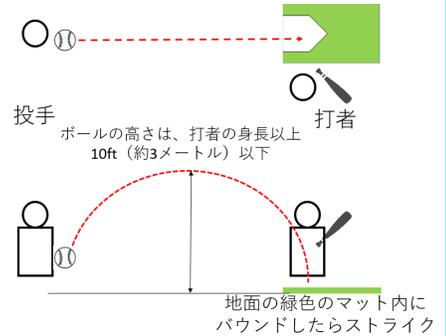
ソフトボールはボールが大きくて飛びづらい一方で、塁間が狭いので外野の頭を超えればホームランになりがちです。強打者の前にいかにランナーを溜められるかがポイントになります。ホームランは野球の華。豪快なバッティングに期待しましょう！

👉 走る ランナーはバッターがボールを打ってからでないとベースを離れてはいけません(盗塁も禁止)。これにより、フォースアウト(ランナーが一塁にいる時に、二塁ベースを踏んでアウトにする等)が多くなる傾向にあります。安全の為、ホームベースと一塁ベースは2つずつあり、ホームベースは守備用とランナー用が大きく離れています。

🚫 投げる 本ソフトボール大会は初心者でも打ちやすいスローピッチのルールが採用されています。

また2ストライクからのファウルはアウトになります。見どころは以下のようなポイントになります。

- ✓ ボールの高さ・コースに加えてストライクゾーンの奥行きを使った三次元的なピッチング。
- ✓ フォアボールを出さない制球力。
- ✓ 2ストライクからファウルを誘う駆け引き。



👤 守る 守備は10名、通常の9名に加えて「ローバー」というポジションがあります。強打者に対してローバーを外野に配置する、内野ゴロでのアウトが欲しい場面で二遊間を固める等、様々な戦略が考えられます。スローピッチの特徴上、右打者はレフト方面、左打者はライト方面に強い打球を飛ばしがちで、相手バッターや状況に合わせた守備位置変更にも注目です。

(編集委員 津島博紀)

もう一つの競技場 キャプテン会議

大会に先立ち、3/25にキャプテン会議が開催され、ルール説明・運営・組み合わせ抽選等が行われました。

中でも組み合わせ抽選は各チームの命運を握る重要ポイント。手に汗握るくじ引き大会が行われました。



<組み合わせ抽選くじ引き>

トーナメント表

トーナメント表は以下の通りです。さて、栄冠は誰の手に！?

○の数字は試合順
ローマ数字はグラウンド

